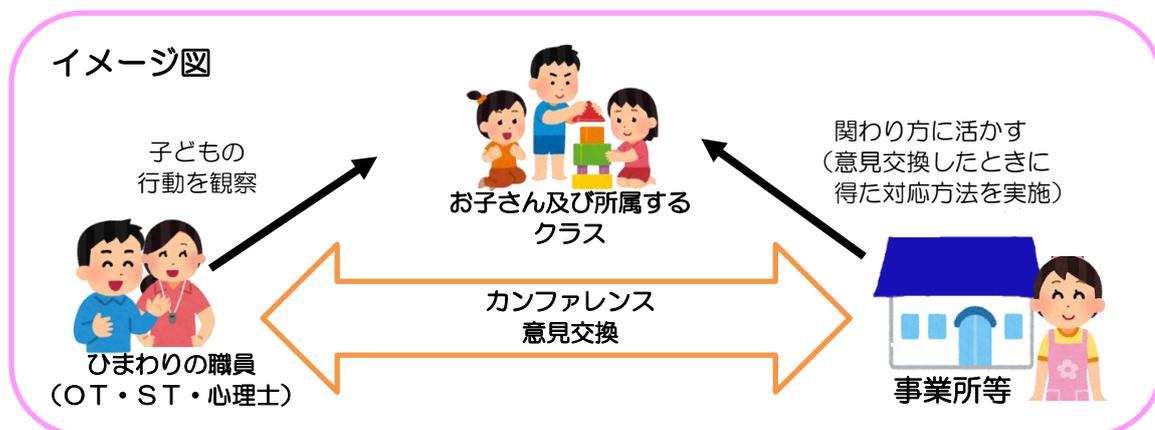


出張療育カンファレンスご利用にあたって

出張療育カンファレンスは、障害児通所支援事業所などの先生方が療育を行う中で、“気になること”や“どうしたらよいのか”を考えるときのヒントになるように実施しています。

カンファレンスの中で、かかり方への提案や各事業所のリソースを活かした活動、空間の使い方などの助言をいたします。よりよい療育環境を作るためにご利用ください。



カンファレンスの流れ

① 問い合わせ

以下のお問い合わせ先に、お電話ください。

- | | | |
|-----------------------|----|---|
| ・総合療育センターひまわり学園育成課療育係 | 小関 | 電話：048(622)1704 |
| | | FAX：048(622)4359 |
| | | MAIL：himawari-ikusei@city.saitama.lg.jp |
| ・療育センターさくら草 療育係 | 古川 | 電話：048(710)5860 |
| | | FAX：048(839)0352 |
| | | MAIL：ryoiku-sakura@city.saitama.lg.jp |

その後、別添の「出張療育カンファレンス申込書」に、**相談内容** など必要事項を記入していただき、FAXにて送信をお願いします。

② 日程調整

FAX受け取り後、こちらから日程調整の電話を入れさせていただきます。

※訪問日程については、その時々のお申込み状況によってお待ちいただく場合がありますので、ご了承ください。

③ 訪問日当日の流れ

- | | | |
|--------------|---|---|
| 活動の様子を全体を見ます | → | お子さんやクラスの様子を、 観察 。 |
| お昼・おやつ | → | 昼食などの時間があれば支度や片づけの様子を含め 観察 。 |
| 活動後 | → | カンファレンス を行い、お子さんの行動をどのように理解するか、また対応をどのようにしていくか（意見交換）を行います。 |



カンファレンス例1

児童発達支援施設からのグループ（年長児4名）指導についての相談

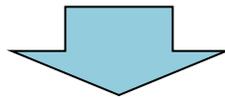
相談



集団活動にのれず、それぞれが違う活動を始めてしまう。
どのようなプログラムを実施すればよいか。

観察

- ・はじめの会：各児に職員がひとりずつつく。一定の時間をかけて大人が促し、3人は着席。
Aくんはマットの山の上に座る。横に居る大人の手拍子を真似る。
- ・サーキット：順番待てず、全員あちこち動く。待つ間、丸太型ブランコをできるようにしたが、大人がついていないと危険な状態。
- ・製作：3人は落ち着いて作業。Aくんは離れた場所で、一部の作業に取り組む。
- ・自由遊び：台に乗り、ロープにぶら下がる遊びを4か所用意。それぞれの場所で楽しむ。
- ・Bくんは他児への抱き着きが多い。活動の合間に、入って欲しくない所に入ったり、電気のスイッチをいじる。大人の様子も伺っている。
- ・2人組で楽しめる活動が分かれたが、お互いに介入するとトラブルになることもある。



カンファレンス

考えてみよう!



それぞれに

好き・得意なこと
嫌い・苦手なこと

 がある子どもたち・・・

無理に集団化せず、個々が満足できる活動を設定してみる。
まずはそれぞれが楽しい気持ちで満たされるとよい。

やってみよう!



★お勧めのプログラムの流れ

【前半】自由遊び（それぞれの子どもたちが好きな活動、得意な活動を設定）
※本人がやりたい・楽しめる活動に取り組むことで満足できる

【後半】少人数・短時間での集団活動（例：製作、サーキット、はじめの会）
提案1：サーキット
提案2：先生と1対1での遊び



『マットで前転・後転・おいもごろごろ』
(介助あり)



『ピンとピン』♪びんとびんとピーン♪
(子どもの指を1本ずつ押しながら引く)



カンファレンス例2

放課後児童デイサービスからの個別（特別支援学校中2）相談

相談



車やデイでうずくまり、動かなくなることがあります。
イライラして怒ると、机や壁を叩きます。

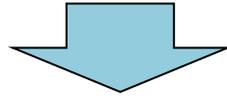
観察

<施設> 16畳くらいの1フロア。

1日に小1から中学生まで10名程が利用

<デイでの様子>

- 入口でうずくまる。流れが始まると、ちらっと顔を上げて様子を見たり、訪問者にも気づく。
- 声をかけられると、手遊びにもおやつにも、児のペースで笑顔で参加。
- 片付けは声をかけてもやらないが、手渡すとできた。
- お友達がやっているお絵描きに興味を持ち、参加。



カンファレンス

考えてみよう!

うずくまり・動かなくなる
イライラして怒り、机や壁を叩く



『学校で頑張ったー』『疲れたー』『ゆっくりしたいよー』
の気持ちの表れの可能性

周囲の様子の気付き・判断はOK。

本人なりのペースで活動に参加し、好きな事をして過ごすことができています

やってみよう!

うずくまったり動かない様子を認め、見守る
流れや、やる事は声をかけて、本人のタイミングを待つ



・・・それでも行動に移らない時、**実物を見せて知らせる**
(目で見て、次にやる事の見通しが立つ)



～参照～

『子どもの行動を理解するために～出張カンファレンスのまとめをとおして～』

P8、P10